

会報 高鷲の文化財

第43号

題字：麦島博昭

高鷲町文化財保護協会 発行：令和3年9月30日

高鷲町民が集うサロン！たかす開拓記念館の日

「会報 高鷲の文化財」41号でお知らせしました「たかす町民センターの日」「たかす開拓記念館の日」は、高鷲町民が集うサロンとして6月9日から毎週水曜日9時に行っています。テーマは毎週違いますが、お茶やコーヒーを飲みながら参加者が思い思いに感想や意見を述べあっています。参加者は10人から20人ぐらいで高鷲町民の憩いの場となっています。皆様のご参加をお待ちしています。次に今まで開催されましたテーマの中で、その内容をご紹介します。



満州開拓の引揚者との対談 7月1日（水）

第5回目の「たかす開拓記念館の日」に行われた「満州開拓の引揚者」との対談に、上ヶ島信夫氏、三島洋子氏を迎え、また麦島博昭氏の参加をいただき、参加者との間でお話と対話を行いました。その内容が8月1日の中日新聞朝刊中濃版に載っていたので一部抜粋して報告します。

『旧高鷲村は戦前、旧満州の琿春高鷲開拓団に約640人の移民を送り出したが、終戦直前の1945年8月9日のソ連軍が侵攻。開拓団員は悲惨な逃避行を強いられ、飢えや病気で約200人を超える犠牲者を出した。（略）

たかす開拓記念館には開拓にまつわる資料約1400点が並び、豪雪地帯で農地が乏しい高鷲村は、国の政策に基づいて満州への分村計画を決定。先遣隊派遣の後、本隊が41年に琿春高鷲開拓団に入った。琿春は豊かな農地が広がり、稲や大豆、ジャガイモなどがよく育ったと言う。しかし、ソ連軍の突然な侵攻で状況は一変。開拓団員は多くの犠牲者を出しながら非難し、収容所でも飢えと感染症で倒れる人が相次いだ。帰国までの1年2ヶ月、死に直面し続けた人たちは、当時に苦しみは今も忘れられない。

その当時の思い出を参加者は、「ソ連軍の使役に出た母が拾ってくる豆粕を食べ、南京袋にくるまって寝た。妹は少しずつ大切に与えていた白米の汁が底をついたころ死んでしまった。栄養失調ですよ。お腹が減り、ただ食べたいとばかり思っていた。」

「日本軍の戦死者が道端にごろごろしている中を歩いた。食べたいばかりに中国人の家に物乞いをして歩き、雑草を食べて。母は46年6月、働きすぎと栄養失調で亡くなった。帰国の貨物船では動物のような扱いで、茶碗一杯のコーリャンのおかゆが食事だった。」と振り返り思い出を述べられた。』

現在、開拓の経験者が高齢化して次々この世を去っていくこの時に、多くの証言を集め後世に伝え遺していくことが文化財保護協会の責務だと思います



高鷲の郷土料理を伝えるTAKIMATA会の人達との対談 9月15日

9月15日（水）の開拓記念館の日は、TAKIMATA会の人達と「むかしの高鷲の郷土料理」について参加者の人達との話し合いが行われました。

TAKIMATA会とは、高鷲（TA）の郷土料理（KI）を学んで（MA）食べる（TA）会という意味で名付けられたそうです。

この会では、地元で伝わる郷土料理の伝承に取り組む団体で、主なメンバーは高鷲に在住する若い人達で構成されています。この度、この会の「高鷲郷土料理新聞」が創刊され、毎年刊行される予定だそうです。

新聞の創刊を記念して、さらに古老から郷土の料理に関する情報を収集するために、9月15日の「たかす開拓記念館の日」に代表3人が出席され、参加者と次の郷土料理について意見交換を行いました。

「みそ煮」：有り合わせの野菜や漬物を煮込み、鯖缶やツナ缶を加えて味わう。郡上味噌を使うのが特徴で、別名「ひきずり」とも言う。参加者からは、「みそ煮」は特別な日には牛肉を入れるときもあったが、「すき焼き」風にして食べたこともある。なお味噌は自分の家で作った味噌を使った。

「ひね漬け」：秋に漬けて初夏に食べる「鷲見かぶら」を使った古漬けのことです。発酵し独特のうまみがあります。参加者からは、そのまま漬物として食べたり、みそ煮の中に入れてたり、ケイチャンと焼いて食べることもあるそうです。

「じんだ汁」：原料としては大豆を使い、大豆は「一生マメ・豆（元気でという意味）で無事終わった」という意味があります。報恩講のおときの際、「たかたかまんま」と、このじんだ汁は高鷲の定番だったそうだ。参加者からは、各家庭でも作ったとか、豆を昔は石臼で磨り潰していたが、今はミキサーにかけて潰すなどの意見も聞かれた。

その他の意見として「ホウ葉寿司」も高鷲独特のものがあるのではないかと、活発なご意見をいただいた。



今後のたかす町民センターの日・たかす開拓記念館の日スケジュール

- 10月6日（水）9時：鷲見氏の秘伝について
- 10月13日（水）9時：鮎走白山神社の歴史について
- 10月20日（水）9時：高鷲の祭りについて
- 10月27日（水）9時：高鷲村の地名の由来について
- 11月3日（水）9時：拝殿踊りについて
- 11月10日（水）9時：北海道開拓について（講師；往明寺仲谷住職）
- 11月17日（水）9時：鷲見家古文書から中間報告
- 11月24日（水）9時：高鷲の昔話について
- 12月からは冬期休止

（なお、これは予定ですので内容が変更されることもあります。）

高鷲の指定文化財

鷲見家保が創建と言われている鷲見城址

鷲見城本丸跡

